

Gartner 24

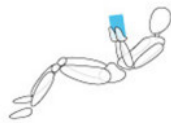
Steelcase 6 2,000

()

9

Steelcase Steelcase

9



1. THE DRAW



2. THE MULTI-DEVICE



3. THE TEXT



4. THE COCOON



5. THE SWIPE



6. THE SMART LEAN



7. THE TRANCE



8. THE TAKE IT IN



9. THE STRUNCH

Gesture Steelcase 1 Gesture

Gesture
Gesture
Gesture
Gesture

9
Gesture
3

+

Gesture 3

- A社 (イギリス、ロンドンにあるグローバルな金融サービス会社)
- B社 (アメリカ、シアトルにあるグローバルな食品飲料会社)
- C社 (中国深川にあるインターネットサービス会社)

A 500
3 B
C

62%

10%

- オフィスでリクライニングすることはあまり良い姿とは言えませんが、A社とB社の社員たちはGestureに座ることで頻繁にリクライニング姿勢をとっていました。人がよく座面の先端部に座るのはアームが邪魔をしてデスクに寄ることができないからという理由もあります。

Gesture
B 1 Gesture

Gesture

- ユーザーはキーボードで作業する、考える、他の人と交流する、電話で話す際に姿勢を変えていました。Gestureの多能性がその動きを可能にしたのです。
- Gestureにより、ユーザーは同じスペース内で、より多くの作業を行うことができるようになりました。例えば、イギリスの会社ではデスクは頭を下げて何かに集中する「場」であり、対面しながら、動画を通してコラボレーションをする「場」、また電話で話をするためのスペースでもあります。(McKinsey社の調査によると、ワーカーは平均で3分おきに作業を変更しています。)
- ユーザーは作業に合うようにチェアを調節しながら身体を動かすことができるようになりました。
- 目的に合わせて思いのままに姿勢を変えることができました。

Gesture
B

Gesture

83%

Gesture

87%

Gesture

96%

Gesture

96%

Gesture

96%

Gesture

96%

